

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年11月24日 (2011.11.24)

【公開番号】特開2010-95553(P2010-95553A)

【公開日】平成22年4月30日 (2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2008-264716(P2008-264716)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/03 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 L 33/16 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/03

C 0 8 L 23/08

C 0 8 L 33/16

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月6日 (2011.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) ポリブチレンテレフタレート 100 重量部に対して、(B) テレフタル酸、1, 4 - ブタンジオールとテトラメチレングリコールとのブロック共重合体 10 ~ 60 重量部、(C) エチレンブチルアクリレート 10 ~ 50 重量部を含む熱可塑性樹脂組成物。

【請求項 2】

(B) テレフタル酸、1, 4 - ブタンジオールとテトラメチレングリコールとのブロック共重合体と (C) エチレンブチルアクリレートの重量比率が (B) : (C) = 1 : 1 ~ 1 : 0.4 である請求項 1 に記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項 3】

(B) テレフタル酸、1, 4 - ブタンジオールとテトラメチレングリコールとのブロック共重合体の曲げ弾性率が 30 ~ 80 MPa である請求項 1 から 2 のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項 4】

さらにポリブチレンテレフタレート 100 重量部に対して、(D) 臭素化ポリアクリレート 20 ~ 60 重量部を含む請求項 1 から 3 のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項 5】

アイゾット衝撃値が 200 kJ/m^2 以上かつ耐トラッキング値が 500 V 以上である請求項 1 から 4 のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物を用いた成形品。